

第4学年1組 算数科学習指導案

令和7年6月26日(木) 第3時限 場所 4年1組教室

1 単元 垂直・平行と四角形(本時4/14)

2 本時の目標

垂直や平行な直線のかき方を使って、長方形や正方形を作図することができる。

(知識及び技能)

3 主体的な子供を育むための手だて(手だて①)

- ・長方形や正方形をかくために必要な既習事項を振り返ることができるように、ノートや掲示物を作成し、子供たちが作図をするときに活用するように働きかける。

4 展開

(下線部は本校の研究にかかわる手だて)

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	1 問題を出題し、課題をつかむ ・長方形は、4つの角が直角です。 ・向かいあった2組の辺の長さが同じです。	・本時の見通しがもてるように、長方形の定義や性質、三角定規で平行・垂直な直線が作図できることを確認する。 ・学習課題へとつながるよう、ますのない紙を見せ、長方形をかくことを伝える。
課題 (1)	2 本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">どうしたらますのない紙に、長方形がかけられるのだろうか</div>	
展開 (36)	3 長方形を作図する方法を考え、チームで話し合う ・辺BCをかくて、その両端に垂直な直線をかくてから、4cmを測って、頂点Aをきめた後、頂点Aから辺BCに平行な直線を書いたよ。 ・辺BCをかくて、その両端に垂直な直線をかくてから、頂点Aと頂点Dをきめ、直線で結ぶよ。 4 長方形の作図の仕方をチームで発表する ・辺BCをかくて、その辺に三角定規を合わせて、もう一つの三角定規を平行に4cm上に動かして直線をかきました。 ・辺ABを始めにかいて、そこに三角定規を合わせて直角を作り、垂直に定規を動かして、辺DCをかくこともできました。 5 正方形を作図する ・正方形と長方形の違いは、向かい合う2組の辺の長さだけでなく、全ての辺の長さが同じだね。 ・長方形と同じところは、全ての角が直角になっているところです。 ・長方形のかき方と同じかき方でかけそうだよ。	発問「今まで習ったことを生かして長方形をかいてみましょう」 ・ <u>辺の垂直や平行に目をつけることができるように、掲示物で既習事項の定義や性質を確認する。</u> ・三角定規を使うように指示する。 ・考えを共有し、協働的な学びの場となるよう、チームで話し合う場を設定する。 ・直角を正しくかけているか確認できるように、透明のシートで縦4cm、横6cmの長方形を用意する。 ・何通りものかき方を考えている児童を称賛する。 ・チーム内で出てきた作図の仕方を説明しながら見ることができるように、ホワイトボードを用意する。 発問「長方形のかき方を生かして正方形をかいてみよう」 ・ <u>長方形と同じ方法で作図できることに気付けるように、正方形の定義や性質をノートや掲示物で確認する。</u> ・垂直や平行に着目し、何通りものかき方ができるように、活動4の板書を参考に多様なかき方でかくように働きかける。
整理 (5)	6 本時の振り返りをする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・どの辺とどの辺が垂直で平行なのかを考えて、今まで習った方法を使うと長方形や正方形をかくことができると分かりました。</div>	発問「めあてにもどりましょう。今日、長方形と正方形をかいてみて、わかったこと、気づいたことは何ですか」 ・机間指導を行い、本時の学習課題に対する学びが書けている児童を、意図的に指名する。

5 評価

長方形や正方形の辺における垂直や平行の関係に着目し、三角定規を使って、長方形や正方形をかくことができたか。
(活動3～5の記述や作図、発表から)